

県展のお知らせ

今年も神奈川県美術家協会主催、三菱 UFJ 国際財団他後援の美術展「県展」にホーム児童の絵が招待を受けました。是非、著名美術家の作品と共にサクラファミリーホームの子供たちの絵をご鑑賞下さいますよう下記の通りご案内申し上げます。



第83回県展・第40回ジュニア展(神奈川県美術家協会主催) 児童絵画出展

- 第1会場：横浜市民ギャラリー
2016年4月27日(水)～5月2日(月)
〒220-0031 横浜市西区宮崎町26番地1
TEL：045-315-2828
- 第2会場：東京都美術館
2016年12月13日(火)～20日(火)
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
TEL：03-3823-6921



サクラファミリーホーム児童2016年県展応募作品

	氏名	題名
1	ハフィズル	美しい丘と湖
2	シハブ	日没の風景
3	アルアミン	茶園
4	ジョイ	森の風景
5	ラハト	美しい村
6	シファット	村の川岸
7	シナム	牛車
8	ラビ	モハスタンゴール
9	ラキブ	美しい自然
10	マムン	秋の風景
11	ロクサナ	月夜の風景

	氏名	題名
12	ヌスラット	美しいスイレン
13	シャンタ	春の風景
14	ドウリストイ	夕暮れの風景
15	ジャスミン	美しい泉
16	ミトゥ	緑の野原
17	スマイヤ	学校の風景
18	ケヤ	村の風景
19	タイエバ	雨季
20	アッバス	石の色
21	ライマ	稲田
22	ナズニン	公園の風景

	氏名	題名
23	シャヒン	日没の風景
24	ジョニー	村の風景
25	ベラル	スイレンの風景
26	サッビール	川の風景
27	ズバエール	海の波の風景
28	ズナエート	美しい花
29	ウサム	買い物をする人
30	ウサド	美しい花園
31	アナス	マンゴの樹の風景
32	ナフェス	自然の風景

当会 HP のご案内

サクラファミリーホームのホームページが大分充実してきました。

これからもドンドン更新してゆきます。是非一度お訪ねください。他の方へのご案内も宜しくお願い致します。



特定非営利活動法人
日本バングラデシュ協力基金
Sakura Family Home - Nakagawa Trust-

お気軽にお問い合わせ下さい
TEL: 0476-33-4839

はじめまして
サクラファミリーホーム
会員制度
団体概要
お問い合わせ

はじめまして
サクラファミリーホームの子供たちにご支援を

私たちの家族として育てています

りっぱな大人になるうと頑張っています

SAKURA FAMILY NEWS 2016年4月発行 通巻39号

特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金

事務局：業務/月～金、10時～16時
住所：〒286-0114 千葉県成田市本城83-40
TEL：0476-33-4839 FAX：0476-33-4859
E-mail: sakura-jbcf@kss.biglobe.ne.jp
URL：http://www.sakura-family-home.org

郵便振替口座：名義/特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金
口座番号/00170-6-766054
会費：正会員/月額500円
賛助会員/1口月額500円
フォスターファミリー会員/1口月額1,000円

SAKURA FAMILY HOME: SOUTH SALNA, SALNA BAZAR, JOYDEBPUR, GAZIPUR, BANGLADESH Phone: 880-1714133035

SAKURA FAMILY NEWS



特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金



入園・入学



※ 新しく4人の男児を受け入れました。 ※

註 太文字部分がホームでの呼び名です。

これまでストリートチルドレンを保護し他の養護施設に紹介しているBNWLA(全バングラデシュ婦人弁護士協会)より多数の児童を受け入れてきましたが、この度4名の児童の養育を依頼され2016年1月21日受入しました。

BNWLA自身が費用を負担して学校の寄宿舎に預けていましたが資金難のため中止せざるを得なくなったとのことです。以下その4

ディアン ラーマン アニス ウサド

ウサドウサドは9歳の男児です。2歳半の時から両親・家族は不明、出身地は発見場所ダッカ。サクラファミリーホーム入園後は学習状況により小学4年に入学しました。



アイマン ラーマン アニス ウサム

ウサムは9歳の男児です。2歳半の時から両親・家族は不明、出身地は発見場所ダッカ。サクラファミリーホーム入園後は学習状況により小学3年に入学しました。



名をご紹介します。

4人は他の3名の女児と共にある警察官僚の男の家に監禁されていました。約7年前発見され裁判のうえBNWLAが引き取りました。男は国外へ逃亡し妻は逮捕され服役中です。女児はBNWLA自身が持つ女子養護施設に引き取られました。記録上生年月日、出身地など4名の状況は同じになっています。

アナス ラーマン アカンド アナス

アナスは9歳の男児です。2歳半の時から両親・家族は不明、出身地は発見場所ダッカ。サクラファミリーホーム入園後は学習状況により小学3年に入学しました。



ナセフ ラーマン ナイス ナフェス

ナフェスは9歳の男児です。2歳半の時から両親・家族は不明、出身地は発見場所ダッカ。サクラファミリーホーム入園後は学習状況により小学3年に入学しました。



※ 高校入学 ※

ラハートとシファットの二人が1月1日高校(小学校5年の後の5年間)に入学しました。



※ ショナリのカレジ入学 ※

2015年8月2日に早く社会人になりたいと卒業したショナリでしたが、更なる進学を感じたのか卒業後働きながらカレジに進学しました。在園中のロクサナ、ドゥリスティと同校同学年で勉強しています。



結 婚



卒園生ローション、モニール、囑託職員のセリムさんの合同結婚披露宴

2008年卒のローション、2007年卒のモニール、サクラの運送業責任者セリムさんが相次いで結婚し3組の合同披露宴をサクラファミリーホームにて、児童職員全員の出席のもと華やかに催しました。3名の新婚に会長よりミシンを贈呈しました。



ショリファの結婚

2012年卒のショリファが結婚したと報告してきました。

6月には子供も生まれるそうです。彼女の幸せを祈ります。



卒園生ルパリ、サッドム姉弟が来園

2006年卒のルパリの夫は中東のサウジで働いています。2008年卒の実弟サッドムも中東オマーンで働いていますがこの度休暇で帰国し、これを機にルパリとその娘、サッドムが子供達へのお土産を持参して来園しました。



サクラファミリーホームの出来事 (2015年11月1日～2016年3月31日)

- 2015年**
- 11月2日 マネジャ、ラズバリにて入園希望者の状況確認、サッピール、ズナエール、ズナエトの3兄弟を受け入れる
JSC 試験(8年生修了試験)開始、ジョイが受験
- 11月3日 会長、マネジャ ジョムナ銀行との口座トラブルに関し NGO 局訪問
- 5日 スキャナー購入
- 6日 卒園生ローション、モニール、囁託職員セリムさんの合同結婚披露宴を催す
- 17日 デイベロパー会社社長アワル氏訪問、寄付の申し出を受ける
訪米時面識を得たエナエトゥール氏のバングラデシュ事務所訪問
- 22日 児童スタッフ全員でのミーティング 
- 22日 近隣の靴工場より山羊1匹の寄付を受ける
PSC 試験(初等教育5年生修了試験)開始、ラハート、シファートの2名が受験
- 24日 会長マネジャ スタンダードチャータード銀行訪問、口座トラブルに付き苦情を申立て
会長マネジャ BNWLA 児童保護責任者ナズマさん訪問
- 26日 会長マネジャ卒園生ファルザナ(軽度知的障害)が就労中の縫製工場へ表敬訪問
- 29日 会長帰国
- 12月5日 ハフィズル SOS という団体の職業訓練校入学試験を受験
教育係と母親たちの懇談茶話会
- 7日 カランマ(叔母さん役)募集のため新聞に広告を掲載
- 13日 児童サッピール腹痛のためクリニック受信
- 16日 学校での独立記念式典にてロクサナ、ドゥリスティがダンスを披露
- 17日 日本のフォスターファミリーへ年賀状を送付

2名の新カランマ、サノワラさん、マノワラさん着任  
- 19日 ハフィズル SOS の職業訓練校入学
- 21日 児童スタッフ全員で勉学、生活の規律につきミーティング
- 22日 新カランマに就業指導
- 23日 土地建物の固定資産税納付
- 31日 サルナ市場にて1月分の食糧、資材調達
PSC 試験(初等教育5年生修了試験)の結果発表、ラハートB、シファートCで合格
JSC 試験(8年生修了試験)の結果発表、ジョイA-(Aマイナス)で合格  
- 2016年**
- 1月2日 マネジャ SOS の職業訓練校で保護者と生徒のオリエンテーションに参加
思春期を迎えたラハートとシファットが家庭より年長男子寮へ移動
- 3日 マネジャ BNWLA 訪問、4名の入園希望男児を面接
- 6日 卒園生モリヨム、看護学校の休暇で来園滞在 
- 9日 教育係と母親たちの懇談茶話会
- 12日 シャヒン職業訓練校 USEP の知的障害者コースへ入学
児童とスタッフ全員のミーティング
- 13日 BNWLA の児童養護責任者とカウンセラーがサクラと通学校の状況を視察
- 17日 教育係とママ(おじさん=用務員)の責任分担についてミーティング
- 21日 BNWLA の理事と児童養護責任者が4名の男児引き渡しのため来訪
サルナスクールの運動会開催、サクラの児童も数名入賞
- 23日 マ(母)と4名の新入園児と共に彼らへの対応について相談
- 25日 副会長中川浩人氏来訪、子供たちとコロバニード(犠牲祭)を楽しむ
- 28日 スタンダードチャータード銀行が口座運用上1年も続けた不当な要求を引下げる
- 29日 政府統合書記官ジャハナラさん家族友人と共に来訪
- 2月1日 BNWLA のカウンセラーがサクラに扶養依頼した4児のカウンセリングに来園
- 6日 教育係とママ達の懇談茶話会を催す 
- 15日 ベラルが入院し扁桃腺炎の手術を受ける
デイベロパー会社アワル氏にコンピュータ教室の工事について相談
- 16日 アワル氏より高額の寄付を受ける
BNWLA のカウンセラーがサクラに扶養依頼した4児のカウンセリングに来園
- 18日 マネジャ、シャヒンが通学中の職業訓練校 USEP の保護者会に出席
ジョイデブプール郡の小学校合同運動会でサクラの子供たちが8つの賞を取る 1等-3、2等-2、3等-3
- 21日 児童とスタッフ全員のミーティング
郡の小学校合同運動会が再度前回1等を取った児童のみで行われサクラの児童は2等-1、3等-1を取る
- 24日 USEP 職業訓練校でシャヒンが猫をからかい噛まれる
- 25日 猫に噛まれたシャヒンに感染症の予防接種を受けさせる
近隣の病院の理事長が併設の看護学校の生徒募集と診察協力の申し出に来訪
- 3月3日 同病院で成長不良のジョニーの血液検査を受けるも異常は発見できず
- 5日 協力者スフィ氏、エナエト氏来訪、子供たちと懇談 
- 8日 卒園生ルバリ、サッドム兄弟がルバリの娘を連れて来訪
- 9日 卒園生ショナリがカレッジ入学のため自身の証明書類のコピーを貰いに来訪
- 11日 卒園生シュミが教育係トゥリスナさんに身の上相談をするため来訪
- 17日 会長来訪
- 18日 小林レイ子さん、高橋美香さん、根岸さん来訪、サクラ園内と近隣名所を案内 
- 19日 近隣病院理事長会長と面談のため来訪
- 20日 同病院看護学校、医療技師養成学校を見学
- 23日 ライオンズクラブ会長タハミナさんと面会
- 24日 携帯電話会社グラミンフォンにてバングラでも必要となった携帯番号の所有者データ登録
会長マネジャ BNWLA を訪問、理事長と児童養護責任者に面会
- 26日 パソコン教室用テーブル、椅子を購入 
- 27日 トヨタハイエース車検更新
- 28日 卒園生マームード来訪、パソコン教室について相談
- 28日 会長マネジャ、バングラ政府教育専門家シャモル氏と面会、児童教育について相談
- 29日 会長マネジャ、国立農業研究所ナシエール博士と面会、自身も障害2児の父である同博士と知的障害者施設の開設につき相談
- 30日 パソコン指導ラズ先生来訪、パソコン教室について相談
パソコン教室に指導用大型モニターとエアコンを設置

シャヒン

知的障害児のシャヒンは言葉数も少なくとも大人しい子ですが、学校で他の子にからかわれたりして怒ると大変な腕力の持ち主で、危険だとして学校からもう来ないで欲しいと言われました。

サクラでも年上の子がいじめじみたことをしたため怒り出し、年上の子は徹底的にやっつけられてしまいました。今では誰もシャヒンに悪ふざけはしません。

その後はママ(用務員)の手伝いをさせ少しずつ仕事を教えていました。また鶏の世話を覚えさせようと生後1日のヒヨコ5羽を買い与えました。何羽かは死ぬかと思ったのですが彼は毎日餌や水を与え、昼は温かい日向へ出し夜は寒くないよう自分の部屋に段ボール箱で連れて行き、一生懸命世話をして5羽残らず大きな成鳥に育て上げました。

ただ先日皆で有難く食べましたので現在はいません。

シャヒンは気を良くして今度は山羊を飼いたいと張り切っているので、子山羊を1頭買い与えました。これからどう育て上げられるのか楽しみです。

また近隣の職業訓練校 U-SEP がシャヒンのような知的障害児のために特別訓練課程を設けましたので彼も受講し、この度めでたく3ヶ月のコースを終え修了証を貰いました。試験の点数も記載され64点でした。上出来です。

近々近隣の工場への就職を斡旋してくるそうです。



シファット

シファットはごみを捨てに行ったり残飯を牛に与えに行ったりとても良い子ですが、怒り出すと手が付けられずマ(母)、教育係、マネジャなど誰の言うことも聞きません。あげくの果に学校には行かない、サクラでも勉強しないと宣言しました。彼をどう扱ったらよいのか皆から相談を受けましたが、一切怒ったりせずしばらく好きにさせときなさいと言い残して帰国しました。聞くところによると学校は行かずサクラでも皆の学習を尻目に3日間一人で園内をうろろろしていましたが、4日目からつまらなくなったのか次第に勉強に参加するようになり学校にも行くようになったそうです。

PSC(小学校卒業試験)前にそんな状況だったので必ずや落第するだろうと誰もが思っていたようですが、結果はCながら合格で皆奇跡が起こったかのように喜びました。

今回来てみると随分意欲的になっていたので、高校からは次第に良い成績をあげてくれるものと期待しています。



パソコンスクールの教室完成

前号(2015年10月号)でご説明・ご協力をお願いをしましたグローバルギビングを通じての募金活動が終了し、2016年2月1日、628,705円が振り込まれてきました。ご協力くださった皆様には厚くお礼申し上げます。

この資金により写真の通りの立派なパソコン教室を開設することができました。ここでサクラの児童全員にパソコン教育をするとともに、外部の受講生も受け入れ授業料収入をサクラの運営費に充てるつもりです。



現地出張こぼれ話

バングラデシュ交通事情

最近東京都内では赤信号でも左折できる交差点が増えているようです。バングラ(左側通行)では独立以来言われなくても交差点とはそんなものなので、日本は40年以上も遅れて始まったことになります。

というよりバングラでは基本的に運転者も交通整理の警察官も信号の色は全く考慮していないようで、いつ止まるか発車するかはその時の状況次第で非常に合理的です。日本のように他に車が一台もないのに長々と信号待ちをする光景は全くありません。日本でも早くそうならないかと願うのは私だけではないでしょう。

バングラデシュでは割り込み幅寄せといった観念も言葉も無いようです。それらはごく当然の運転方法だからです。幅寄せしつつもかか5cmでも先に突っ込んだ方が優先です。日本では喧嘩になるところですがここでは突っ込まれた方は潔く譲ります。だ

から混雑した交差点では如何に先に突っ込むかお互いに凌ぎを削っており運転手の腕の見せ所です。日本のように譲り合っていたらいつまでたっても先には進めません。

交差点での前照灯点滅やハザードランプはお先にどうぞではなく、自分が先に直進するぞと言う意思表示で日本とは全く逆になります。ウィンカーの点滅はあまり当てにはなりません。ハザードのつもりが片方のランプがついていないことも多いからです。

また前方の車に追いついたら必ず追越すというのが常識です。早く追いついたのだから追い越すのは当然といえば当然です。対向車線の車が数十メートル先に迫っていても追い越しをかけます。こんな時危険を感じたら追い越される方が減速します。対向車もさらに左によって譲ります。この辺はルールが確立しているようです。